

# Myuでつながる過去・現在・仕事・家族・思い



みの〜れ住民劇団 演劇ファミリーMyu(みゆう)

## 藤本 隆幸 さん

みの〜れと共に生活するスタイル

# Minole Life のすすめ

No.176

新緑の美しい季節がやってきました。緑がみずみずしく感じられ、小鳥のさえずりにも元気をもらいますね。今年11月3日、みの〜れは20歳になります。10月15日、16日にはミュージカル「黄色い袋と魔法のトンネル」を上演することが決まり、キャスト72人、スタッフを含め総勢100人以上が関わる記念作品が始動しています。今回は、みの〜れ住民劇団「演劇ファミリーMyu」のメンバーで「フジモ」の愛称で親しまれ、笠間市にお住まいの藤本隆幸さん取材します。

## 苦手克服し 今は仕事に

Myuに入団したきっかけを聞いてみると、「みの〜れが誕生した20年前、私は勤務先が岩間町商工会から茨城県商工会連合会に変わり、県内のまちづくり活動や頑張っている青年活動を訪ね歩くことをしていました。そんな私のアンテナにみの〜れのことを引っかけたり話を聞きに来てみると、当時みの〜れ職員だった中本正樹さんが、みの〜れ誕生前からの住民活動を熱く語ってくれたことに感動して、広報、宣伝美術、楽団、企画展の立ち上げなどの活動に参画し、週3〜4日通っていました。その頃、Myuの演劇を観て、筑内雅明さんに憧れましてね。演劇経験も全く無いし、人前で話すのも苦手でしたが、思い切って飛び込みました。今は独立開業して全国各地で講演しています。みの〜れと

Myuで学んだ経験がとても活きています」と話してくれました。「国家資格取得などで休んでいた時期も、Myuのことはずっと気になっていて、いつかもう一度関わりたいと思っていました。当時、大好きな祖母を亡くして家族の大切さを感じ、いつか家族でミュージカルに参加できたらいいなと夢見ていました。8年間休んだ後で、2021年3月Myuミュージカル『わが家の天ぷら』に家族4人で参加することができました。生活や仕事の都合で割ける時間が限られていても、Myuにはいろんな参加の仕組みがあります。家族参加でも、子どものスキルや意志なども考慮しながら参加しやすい雰囲気を作ってくれています。こういうところに吸い寄せられちゃうんですよ。親が、参加者の一人として仲間たちと一生懸命打ち込む姿を子どもたちに見せることができる、Myuのような場はなかなかないでしょう。みの〜れの

ミッション『つどう』『つなぐ』『つくる』の『つなぐ』、子どもたちに活動と意思を引き継いで良かったと思っています」と藤本さん。「Myuに再び参加させていただき本当に良かったです。メンバーは多様性を認め合うファミリーそのもので、多くの仲間が行き交うプラットホームのようなところ。黄色い袋と魔法のトンネルもなんとかスケジュールを確保して、妻や子どもたちに『やろう』『つて』伝えました。記念すべきみの〜れ20歳記念ミュージカルに家族で参加できるのが嬉しいですよ」と笑顔で話してくれました。

地元の遠州池と池花池を舞台に描かれるミュージカル「黄色い袋と魔法のトンネル」は、Myu史上最高のエンタメ作品で、8年ぶりにリメイクされてみの〜れに戻ってきます。10月の公演、皆さん、楽しみに待っていてくださいな。

(藤田佐知子)